

(昭和 47 年 菱刈町議会)



議会 今と昔

人 口：大口市 28,165 人 菱刈町 11,178 人
議員数： 26 人 20 人
(昭和 50 年現在)

(昭和 50 年代 大口市議会)



伊佐市議会だより 53

令和 4 年 2 月発行

- 👉 12 月定例会「議案の質疑」・・・P 3～7
- 👉 討 論 ・・・・・・・・・・・・・・・・P11
- 👉 議決結果 ・・・・・・・・・・・・P12
- 👉 賛成と反対に分かれたもの ・・・P12
- 👉 議員 11 人の一般質問・・・・・・・・P13～P18

新型コロナワクチン追加接種（3回目）

対 象 者	人 数
医療従事者	1700 人
65 歳以上の高齢者等	10000 人



5370万円増額。
新型コロナワクチン追加接種（3回目）ほか。

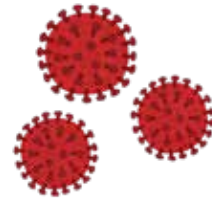
第75号 専決処分の承認

12月定例会 「審議された議案の内容は」

1億8262万8000円増額。
子育て世帯への臨時特別給付金ほか。



第76号 令和3年度 一般会計予算の補正（第12号）



伊佐市応援寄附金の状況（令和2年度）

項目	施策（使途）項目	寄附件数	寄附金額（円）
①	子育て・高齢者対策事業	13,585	173,879,207
②	青少年健全育成事業	1,779	20,951,100
③	魅力ある観光地づくり	2,863	30,291,020
④	商店街の活性化	1,436	15,444,000
⑤	農林業の振興	3,582	50,868,500
⑥	コミュニティ活動の活性化	233	3,042,000
⑦	その他	5,659	88,511,227
合 計		29,137	382,987,054



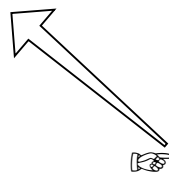
ふるさと納税 返礼品の一部

2億9059万9000円増額。
ふるさと応援寄附金の返礼品ほか。

第77号 令和3年度 一般会計予算の補正（第13号）

伊 佐 市 過疎地域持続的発展計画 令和3年度～令和7年度

令和3年12月
鹿児島県 伊佐市



これまでの過疎地域自立促進計画を基に時代に即した計画となるよう見直し、令和3年度から令和7年度までを計画期間として新たに策定した。

第87号 伊佐市過疎地域持続的発展計画の策定

議案への質疑

11月29日 本会議 1日目



福本 千枝子 議員

議案第76号 令和3年度伊佐市一般会計補正予算(第12号)

福本 子育て世帯への臨時特別給付金の概要について具体的な説明を。

市長 令和3年11月19日の臨時議決決定において、コロナ感染症が長期化し、その影響が様々な人々に及ぶ中、我が国の未来を開く観点から子どもたちを力強く支援する。児童を養育している者の年収が960万円以上の世帯を除き、0歳から高校3年生までの子どもたちに一人当たり10万円相当の給付を行うことになったことにより、本市は子ども一人当たり5万円を迅速に年内に支給する。(残り5万円は3月に支給)

いづも課長

臨時特別給付金の支給分は児童手当支給対象児童2510人、児童手当の公務員分400人、令和4年3月までに出生する新

議案への質疑

12月10日 本会議 5日目



福本 千枝子 議員

議案第77号 令和3年度伊佐市一般会計補正予算(第13号)

福本 小学校費の工事請負費438万円の内容は。

教委総務課長

令和4年度学級編制において大口小学校・湯之尾小学校の普通学級と大口小学校・菱刈小学校の特別支援教室が増加すると予想され、カバン棚や黒板等の設置、教室を二つに仕切るための壁や空調機の設置に要する経費である。



生児100人、高校生の対象者60人、計3610人に5万円を給付することとし、総額1億8050万円となる。

福本 主たる生計維持者の収入が960万円以上は対象外とされるが、伊佐市には該当者がいるのか。

いづも課長 詳細には把握できていないが、システムを使い把握する。

令和3年度子育て世帯等臨時特別支援事業

ゼロ歳から高校3年生までの子どもたちに、子ども一人当たり5万円の臨時特別給付金を支給(主たる生計維持者の年収が960万円以上の世帯は対象外)

対象者	人数
児童手当支給対象児童	2910人
令和4年3月までに出生の新生児	100人
高校生	600人
計	3610人



福本

農業費の産地パワーアップ事業254万8000円の減額の理由は。また、この事業は個人でも申請できるのか。

農政課長

事業主体が可動式のもみ殻燐炭製造機の導入を希望していたが、国との協議により可動式は補助対象外となったため205万円の減額と、コンバイン導入に係る入札執行残49万8000円の減額である。今回の申請は法人だが、個人でも申請できる。

福本

農業費の県支出金精算返納金400万円に至った経緯は。

農政課長

新規就農者育成支援事業において、新規就農者1人が受給した資金を返納するものである。事業の内容は新規に就農した方々を対象に、年間150万円を最長5年交付される。交付された後に最長で5年間就農を継続しなければ返納が生じる制度である。今回は本人の就農条件等により3年間の450万円交付されており、その後4か月就農し辞めることになり、その4か月分の50万円を差し引き400万円返納することになる。



竹原 研二 議員

議案第77号 令和3年度伊佐市
一般会計補正予算(第13号)

竹原 (款)15県支出金(項)2県補助金(目)4農林水産業費県補助金(節)2林業費補助金 鳥獣害防止総合対策交付金事業234万90000円の概要を示せ。

林務課長

国の緊急捕獲事業のうち、鹿の捕獲頭数が当初の1600頭から1750頭と、150頭増加する計画となり一頭当たり7000円の105万円と、本年度限りの国の事業として、令和元年度のイノシシ、鹿の捕獲頭数の9割を基準頭数とし、その基準頭数を上回る捕獲に対し、交付金が129万9000円追加されることになり合計234万9000円を県から補助金として受け入れるものになる。



森田 幸一 議員

議案第81号 伊佐市課設置条例の一部を改正する条例の制定について

森田 市長が組織編制する最大の理由と目指すものは何か。

市長

現状の課題に対応し、その課題を解決していくために一番に考えなければいけないことは、住民サービスをいかに限られた職員の中で効率よくやるかということである。現状課題等について協議・検討を行いながら、より機敏性のある効果的かつ効率的な組織づくりのための見直しを行い、よりよい住民サービスを行う。



議案第87号 伊佐市過疎地域
持続的発展計画の策定について

森田 我が伊佐市は過疎自治体であるので、この特別措置法はありがたい。該当する自治体は、人口、財政力の両方の要件を満たすことが必要である。令和7年度までの5か年計画であるが、この策定はどのような手法で行ったのか。

企画政策課長

策定の手法は、旧法律に基づく過疎地域自立促進計画に掲げた現況と問題点について、現在の社会情勢、地域を取り巻く現況に照らし、各担当課において、必要な修正・削除・追記を行い、協議、調整を繰り返し計画を取りまとめた。

森田

今回の改正は特に、住民の意見を十分に反映することが規定されているが、今後どのように住民の意見を集約し、反映するのか。

企画政策課長

事業内容に追加・変更が生じた場合、住民が大きく影響を受ける場合は意見集約を行う必要があるが、そのような変更は想定していない。



星野 元興 議員

議案第86号
財産の取得について

星野

今回取得する財産は、小中学校で使用するソフトウェアである。そのため、県内を転勤する先生方がその主な使用者となる。その先生方の利便性を鑑みると県内他の自治体と共通ソフトウェアであることが望ましいと考える。今回導入予定の統合型校務支援システムのソフトウェア名と他の自治体の導入状況を伺う。

学校教育課長

校務支援については、スズキ教育ソフトウェア株式会社の「スズキ校務」を導入予定。こちらのソフトウェアは、既に校務支援ソフトウェア14市すべてが導入している。グループウェアについては、株式会社エム・エム・シーの「See・Smile」を導入予定。こちらは、既に導入済み14市のうち7市が導入している。



岩元 (款) 16 財産収入 (項) 2
財産売却収入 (目) 1 不動産売却収入 (節) 2 その他不動産売却収入 3057万6000円の立木処分内容について、場所、面積、金額の詳細を示せ。

議案第77号 令和3年度伊佐市一般会計補正予算 (第13号)



岩元 努 議員

12月補正 (歳入) 内訳

国有分収造林売買契約 30,934,365 円・・・①

R3.10.20 現在

林務課長

日付	所在	国有林名	分収契約面積 (ha)	販売立木 (m ³)	分収金 (円)	分収契約状態
R3.6.2	菱刈南浦字柳野 1476	岩坪国有林 2102 む林小班	2.7801	1114.01	1,540,000	終了
R3.6.2	菱刈南浦字柳野 1476	岩坪国有林 2102 ま林小班	15.445	5224.2	12,574,100	一部終了
R3.6.2	大口山野字風呂元 2734	布計国有林 2046 よ林小班	16.7539	4691.31	573,265	一部終了
R3.6.30	菱刈荒田字崩ヶ原 2941	崩ヶ平国有林 2106 ち林小班	10.99	2877.86	10,087,000	一部終了
R3.6.30	菱刈荒田字場ノ木 2941	崩ヶ平国有林 2106 へ林小班	3.9898	1314.93	1,925,000	終了
R3.7.30	大口針持字小平頭 649-1	小床国有林 2107 め林小班	6.3699	4139.31	4,235,000	終了

合計 (確定分) 30,934,365

立木伐採補償費 142,430 円・・・②

R3.10.27	市有林立木伐採補償費 ①伊佐市大口青木字白毛ノ段 2534 番 20 ②伊佐市菱刈田中字崎山 1407 番 1 ③伊佐市菱刈前目字池田 3504 番 142
----------	--

①+②= 31,076,795 円・・・③ (分収金総額+立木補償額)

R 3 現予算 500,000 円・・・④

③-④= 30,576,795 円

歳入で 30,576 千円を受け入れる



改修予定の水路

遠矢 総務費の開発振興費 500万円について、提案理由説明には「市内企業の冠水防止対策」とあるが、民間企業の災害防止対策が市の予算で行われるのか、事情を伺う。

企画政策課長 市内2事業所の周辺にある、市が所管する水路及び農業用水路の改修工事に伴う設計業務委託料である。

議案第77号 令和3年度伊佐市一般会計補正予算 (第13号)



遠矢 寿子 議員

遠矢 特産品振興費補正額について、今年度直近のふるさと応援寄附金額は。

伊佐PR課長 令和3年度11月末現在で寄附額2億5877万9000円。前年の同じ時期と比べ1.3倍の伸びである。

遠矢 教育費の工事請負費438万円について詳細は。

学校教育課長 湯之尾小学校は現在3・4年生が複式学級であるが、3年生以上の学年の児童の転入により複式解消となるため、学級数変動に対応するための予算措置である。

議案第87号 伊佐市過疎地域持続的発展計画の策定について

遠矢 本計画には男女共同参画という文字が、一か所も見当たらないが、伊佐市男女共同参画基本計画との整合は。

企画政策課長 本計画は法の定める項目ごとに、特定分野の現況、問題点、対策等を取りまとめたもの。行政運営の最上位計画である総合振興計画には盛り込んでいきたい。



柿木原 榮一 議員

議案第77号 令和3年度伊佐市一般会計補正予算(第13号)

柿木原 (款) 2 総務費(項) 1 総務管理費(目) 1 一般管理費(節) 18 負担金補助及び交付金の補助金、山野地区豪雨災害被災地域支援事業230万円の算定方法を説明せよ。

企画政策課長 寄附者のご意向で補助金として、(仮称)山野北部地区豪雨災害被災者協議会に交付する。

柿木原 (款) 7 商工費(項) 1 商工費(目) 5 特産品振興費のふるさと応援寄附額に対する返礼品に係る経費が前年度52・13%から58・03%に上がる理由は。

伊佐PR課長 ポータル納税サイトのふるさとチョイス、楽天ふるさと納税に加え、ふるなび、ANAふるさと納税の2サイト追加の賃借料の増。肉や餃子等の返礼品が増えたことによるクール便の発送経費の増。返礼品は寄附額の3割以下と決められているが前年度実績は27%だった。予算は30%で計算している

ためその差異分の増。



ANAのふるさと納税



地域から日本を元気に!
楽天ふるさと納税

議案第80号 令和3年度伊佐市水道事業会計補正予算(第2号)

柿木原 (款) 1 資本的支出(項) 1 建設改良費500万円の減額理由及び収益的支出の(款)1 水道事業費用(項) 1 営業費用1400万円の増額理由及び場所を説明せよ。

水道課長 500万円の減額は、(目) 1 配水設備事業費の工事請負費を1000万円減額し、(目) 4 老朽管耐震化事業費の工事請負費を500万円増額するもの。なお、減額する工事は、大口小本原地内の国道268号十曾橋の添架管補修工事であるが、実施設計の結果1400万円に増額した上で、収益的支出に組み替える。



庵下 信一 議員

議案第77号 令和3年度伊佐市一般会計補正予算(第13号)

庵下 (款) 3 民生費(項) 4 生活保護費(目) 2 扶助費(節) 22 償還金利子及び割引料、国庫支出金精算返納金3108万4000円の内容は。

福祉課長 新型コロナウイルス感染症の影響による生活困窮からの生活保護受給世帯の増加を見込み多く計上していたが、都道府県社会福祉協議会が実施する緊急小口資金等の特別貸付けにより、生活困窮者への支援策が講じられたことで、想定していた生活保護受給世帯の増加が見られなかったことから、国からの受入額と実際の所要額との差額分を返納するものである。



畑中 香子 議員

議案第85号 伊佐市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について

畑中 未就学児の国保税の均等割について5割軽減するが、国保世帯における未就学児の人数、調定額は。

税務課長 未就学児120人で、調定額264万6840円である。

畑中 全国知事会など地方団体より子どもの国保にかかる均等割について、子育て支援に逆行するとの議論がなされてきた。国は未就学児のみ均等割を5割軽減するが、対象者や軽減割合を独自に拡大する自治体もある。本市における独自拡大など今後の見通しは。

税務課長 国保税は目的税であることから相応の応益負担があることは合理性があると考えている。県内19市で独自に軽減を拡大している自治体の情報はつかめていない。

報告への質疑

11月29日 本会議1日目



岩元 努 議員

報告第12号 専決処分の報告について

岩元 除草作業中の刈払機によつてはじかれた石が通行中の車両のフロントガラスを破損した事故である。同様の事故が多発していること、走行中の車両に被害が出たということは、重大事故につながる恐れがあり、今後の対応対策に万全を期すべきであると考えている。見解を示せ。

建設課長 再発防止策として、通行量の多い路線は除草時に飛び石ガードを使用し、通行量の少ない路線については、車両通行時は一時作業を中断し、車両通過後に作業を再開するなど飛び石対策に努める。



遠矢 寿子 議員

報告第12号 専決処分の報告について

遠矢 刈払機によつてはじかれた石が車両の窓ガラスを破損する事故が3回も立て続けに報告されているが、環境政策課の入っている建物の敷地内、小学校の敷地内、市道と場所が全て異なっている。最初の事故の専決処分報告時に再発防止策はされたのかと質問したところ、されたと答弁があった。実際にはどんな再発防止策がされたのか。

総務課長 課長を通じて、各課で十分取組をするように指示したが、現状では細かいところまでは至っていない。今回の事故を受けて建設課では飛び石ガードを使用して作業する。各課と協議し、刈払機を使うところでは再発防止に努めていきたい。

遠矢 課も場所も本来の業務も異なっていると、注意もなかなか伝わらない。窓が開いていればはじかれた石が頭や目に当たったり、自転車やバイクが通ることもある。市民のために働いている人の作業で不幸



飛び石ガード



なことが起こらないよう、各場所にふさわしい、しっかりとした対策を取っていただきたい。

一般会計予算決算
委員会審査報告



岩元 努 委員長

一般会計予算決算委員
議長を除く全議員

第77号 令和3年度
一般会計補正予算
(第13号)

委員会での採決

「可決すべきもの」

委員 (款) 10 教育費
(項) 5 社会教育費 (目) 2 文
化財管理費 (節) 7 報償費
20万円の内容として、曾
木発電所遺構復旧検討委
員会の委員構成と復旧計
画の詳細は。

社会教育課

鶴田ダム

管理所、始良・伊佐地域
振興局、電源開発株式会
社西日本支店、伊佐市観
光特産協会、曾木の滝観
光協会、川内川上流漁業
協同組合、羽月校区コミ

ユニティ協議会、曾木校
区コミユニティ協議会、
NPO法人バイオマスワ
ークあつたらし会、NP
O法人水と地球、鹿児島
大学鰐坂教授、文化財建
造物保存技術協会、伊佐
市文化財保護審議会、社
会教育課の総委員数18人。

復旧計画は、本年度中に
復旧の工法を検討し決定
していく。令和4年度に
1期工事として架設工事
等を終了し、令和5年度
以降に本格的な復旧工事
に着手予定であるが、渇
水期中心の工事になるた
め複数年かかる。



委員 (款) 10 教育費
(項) 1 教育総務費 (目) 3 教
育振興費 (節) 17 備品購入
費 303万9000円の
内容と、電子黒板への機
種変更の理由は。

学校教育課

市内小学

校4年生以下の通常学級
に整備予定の大型提示装
置を電子黒板へ機種変更
することによる増額分で
ある。この財源は「未来
の教室基金」を充てる。
国の進めるGIGAスク
ール構想によつて、これ
までの授業が大きく変わ
ろうとしている。大型提
示装置から電子黒板に替
えることでタブレット端
末と電子黒板を連動させ
て、よりGIGAスкуль
ル構想の狙いに沿った事
業展開をしていく目的で
ある。

※電子黒板を使った授業
の様子は11ページに掲
載。

委員 (款) 10 教育費
(項) 5 社会教育費 (目) 7 ふ
れあいセンター費 (節) 21
補償補填及び賠償金 60万
7000円の増額は、基
本契約に基づく休業補償
が特別補償か、詳細は。

社会教育課

緊急的な

施設閉館に伴う補償に関
する制度自体がない。県
が実施した休業協力金も
当該店舗においては、営
業補償対象外であったた
め、県の協力金の算定基
準をもとに23日間休業協
力に対する休業補償金で
ある。

委員

(款) 2 総務費

(項) 1 総務管理費 (目) 11
情報管理費 (節) 12 委託料
220万円のプロキシサ
ーバ故障による交換作業
の委託料について、サー
バの故障は保守契約等で
行ふべきと認識している
が、詳細は。

総務課

プロキシサー

バが令和3年2月で保守
契約満了を迎え、延長補
修ができない状態であつ
た。現在、メールサーバ

にプロキシサーバの機能
を持たせて対応している
が、ネットワークへの負
荷がかかるため、購入交
換する費用計上である。

委員

(款) 18 繰入金

(項) 基金繰入金 (目) 1 財
政調整基金繰入金 1億
9958万6000円の
減額の理由と今後の見通
しは。

財政課

市税及び地方

消費税交付金の増額によ
り財政調整基金繰入金を
減額した。近年は、災害
や新型コロナウイルス感
染症対応対策へ基金を繰
入れる必要もあつたが、
国の支援である程度は基
金の減少幅は少なく保た
れている。今後は施設の
老朽化や道路のインフラ
整備等へ基金繰入は増え、
財政調整基金は減り厳し
い行政運営は続くと考え
る。

委員

(款) 3 民生費

(項) 3 児童福祉費 (目) 4 家
庭児童相談室費 459万
8000円の内容として、
相談実績は。

こども課

虐待関係13
5件、擁護関係49件、障
がい38件、非行0、不登
校10件、その他24件であ
る。虐待については平成
30年が40件、令和元年が
167件、令和2年が
216件と、全国、県も
年々増加傾向にある。

委員

(款) 6 農林水

産業費 (項) 1 農業費 (目)
3 農業振興費 (節) 22 償還
金利子及び割引料 400
万円内容として、対象者
が離農する理由は。コロ
ナ禍と豪雨災害が続いた
ことが全額返納を免除す
る特段の理由にはならな
いか。

農政課

豪雨災害によ

り作物への被害が出たこ
と、コロナ禍で価格が低
迷したことも離農を決め
た理由の一つであると聞
いている。全額返納を免
除する特段の理由につい
ては、農業経営を行う本
人もしくは家族の怪我等
身体上の理由により絶対
的に農業を経営できない
状況、もしくは東北大震
災等を例にあげると、放



豪雨により被害を受けた作物

射能汚染等を受けて農地が農業継続できない状況等、農業経営自体が絶対的にできないと判断されない限り全額返納となる。本人とも継続について協議を重ねたが、本人の離農する意志が強く今回の結果に至っている。

総務産業委員会 審査報告



今村 謙作 委員長

総務産業委員

柿木原榮一 庵下信一
岩元 努 森田幸一
竹原研二 村岡強志
久保教仁 今村謙作

第79号 令和3年度
農業集落排水事業特別
会計補正予算(第3号)

委員会での採決

「可決すべきもの」

委員

歳出の消耗品費で汚水処理用薬品の購入費45万7000円の減額とあるが、どのような薬品か。また、歳入で滞納繰越分使用料42万9000円の増額とあるが、どのような方法で徴収されたのか。

建設課

薬品は塩素と

凝集剤である。処理場に流れてくる汚水を最終的に固めて脱臭する、前段階で使用する薬品である。滞納繰越分使用料の増額は、今年の4月から夜間徴収等をはじめ、滞納分の収入が増えたことによるものである。

第80号 令和3年度
水道事業会計補正予算
(第2号)

委員会での採決

「可決すべきもの」

第81号 課設置条例の
一部を改正する条例の
制定

委員会での採決

「可決すべきもの」

委員

課の編制に伴い、特別支援学校の誘致担当を置く考えはないか。

企画政策課

特別支援学校の誘致等に関する担当は今まで企画政策課であったが、知事の県議会での答弁を受けて、より体制を整えるため、こ

も課に移管して動いている。もちろん教育委員会、企画政策課とも連携している。



第84号 過疎地域産業
開発促進条例の一部を
改正する条例の制定

委員会での採決

「可決すべきもの」

第87号 過疎地域持続
的发展計画の策定

委員会での採決

「可決すべきもの」

陳情第4号
伊佐市に計画中の風力
発電事業の推進に関する
陳情

委員会での採決

「継続審査」

委員

原発に代わる再生可能エネルギーとして太陽光や風力などがあるが、開発による災害で被害が出ないように対策をしなければならぬ。議会としては、これは日本全体で考えなければならぬ問題として捉えている。よって、軽々に判断は難しく、これから調査・研究をしていくべきであり、継続審査とすべきである。



文教厚生委員会 審査報告



福本 千枝子 委員長

文教厚生委員

星野元興 遠矢寿子
緒方重則 前田和文
森山良和 畑中香子
武本進一 福本千枝子

第78号 令和3年度
国民健康保険会計補正
予算(第2号)

委員会での採決

「可決すべきもの」

第85号 国民健康保険
税条例の一部を改正す
る条例の制定

委員会での採決

「可決すべきもの」

陳情の結果

継続審査

件名	提出者	付託先
陳情 4 伊佐市に計画中の風力発電事業の推進に関する陳情	今吉 光一 大塚 公一 小田原 宏	総務産業委員会

伊佐市に計画中の風力発電事業の推進に関する陳情

〈陳情の趣旨〉

伊佐市において計画されている風力発電事業について、推進して下さるよう陳情します。

伊佐市においては現在、複数の風力発電事業の計画がされており、下記の理由から、本市ではこれを推進していくことが必要です。

記

1 カーボンニュートラル実現と災害防止

近年、伊佐市をはじめ、九州南部では線状降水帯や巨大化する台風などによる水害が頻発しています。本年 8 月 15 日付南日本新聞朝刊 6 面に掲載されているとおり、日本のみならず世界各地で豪雨などの災害や干ばつが相次いでおり、これらは地球温暖化による影響とみられ、これ以上の気温上昇は防がなければなりません。現在、政府においては、カーボンニュートラル実現に向けた再生可能エネルギーの導入や主力電源化推進しています。本年 10 月 22 日に閣議決定された第 6 次エネルギー基本計画では、再生可能エネルギーについては、2050 年における主力電源として最優先の原則の下で最大限の導入に取り組むことが明記されました。風力発電のような再生可能エネルギーを少しでも多く導入することは、地球温暖化に起因する災害を防ぎ、ゆくゆくは市民生活の安全につながります。

2 事業による伊佐市への効果

風力発電事業による工事によって、地元施工業者はもとより、宿泊施設、飲食店などに、経済効果を見込むことができます。これに加え、風力発電所を新たな観光資源とした集客効果、環境教育の場としての活用も期待できます。

また、事業により、固定資産税が伊佐市に納付されます。これは伊佐市の自主財源となり、財政健全化に貢献するものと考えられます。

以上の理由から、伊佐市議会におかれては、風力発電事業計画を推進されたく、陳情します。

電子黒板を使った授業の様子

国語の授業

曾 木
小学校



電子黒板に映されたデジタル教科書に書き込みながら児童に説明する教師



電子黒板に映されたデジタル教科書の文章から自分の考えの根拠部分に線を引き、他の友達に説明する児童

牛 尾
小学校



児童が協働学習ソフトで提出した意見を電子黒板に映し、それに書き込みながら説明をしている教師



協働学習ソフトで提出した自分の意見を電子黒板で書き込みながら説明する児童

賛成 久保 教仁議員
新規就農者が交付金を受け、受給期間中に離農した場合、返還金が発

賛成 前田 和文議員
我々国民、市民は、義務と権利とをわきまえないと、国、県、市の財政は破綻することになる。
この補助金の取扱いも、執行部の説明努力の経緯を考慮すると、当然の結論といえる。

反対 畑中 香子議員
新規就農者が離農することに伴い交付金400万円の一括返還を課す。実施要綱には、災害や病気など事情がある場合は返還を免除できる規定がある。コロナ禍は未曾有の大災害であり、2年続けて豪雨災害を受けた事情を市は考慮すべき。

議案第77号 令和3年度
一般会計補正予算(第13号)

討論

賛成！ 反対！

私はこう思う!!



生ずる。これを免除できる要件として反対討論では災害を言われるが、被害の内容・今後の対応等には言及されていない。担当課が総合的に判断し、返還を免除できる案件ではないとした県支出金返納金の補正予算である。内容を確実に把握せず、心情論だけで反対とはお粗末に過ぎる。

議決結果一覧表

議案番号	件 名	議決結果
75	専決処分の承認を求めることについて 質疑は 7 ページ	承 認
76	令和 3 年度伊佐市一般会計補正予算（第 12 号） 質疑は 3 ページ	原案可決
77	令和 3 年度伊佐市一般会計補正予算（第 13 号） 質疑は 3 ページから・討論は 11 ページ	原案可決
78	令和 3 年度伊佐市国民健康保険事業特別会計補正予算（第 2 号）	原案可決
79	令和 3 年度伊佐市農業集落排水事業特別会計補正予算（第 3 号）	原案可決
80	令和 3 年度伊佐市水道事業会計補正予算（第 2 号） 質疑は 6 ページ	原案可決
81	伊佐市課設置条例の一部を改正する条例の制定について 質疑は 4 ページ	原案可決
82	伊佐市個人情報保護条例及び伊佐市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
83	伊佐市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
84	伊佐市過疎地域産業開発促進条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
85	伊佐市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について 質疑は 7 ページ	原案可決
86	財産の取得について 質疑は 4 ページ	原案可決
87	伊佐市過疎地域持続的発展計画の策定について 質疑は 3・5 ページ	原案可決
88	教育委員会委員の任命について	同 意
陳情 4	伊佐市に計画中の風力発電事業の推進に関する陳情 詳細は 10 ページ	継続審査

12 月議会での議案等 15 件の中で、賛成と反対に分かれたもの

○は賛成、●は反対

※議長のため賛成・反対には参加しない

議案番号	議 案	議 員															
		村岡 強志	星野 元興	竹原 研二	遠矢 寿子	庵下 信一	武本 進一	岩元 努	今村 謙作	森田 幸一	緒方 重則	前田 和文	久保 教仁	畑中 香子	柿木原 榮一	福本 千枝子	森山 良和
77	令和3年度 一般会計補正予算（第13号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	※
88	教育委員会委員の任命について	無記名投票：賛成 14・反対 1															



市道陥没による原動機付自転車転倒事故の補償。

専決処分の報告

報告 13 号



市道の除草作業中における刈払機による石の飛散を原因とした走行中の自動車の窓ガラス破損。

専決処分の報告

報告 12 号

本会議で報告されたもの

市政を問う

11人が一般質問

- | | | |
|---------|--------------------|--------|
| ① 福本千枝子 | 「新庁舎建設の進捗状況は」 | 13 ページ |
| ② 森田 幸一 | 「給付型奨学金創設を！」 | 14 ページ |
| ③ 村岡 強志 | 「災害時に対する今後の対応策は!!」 | 14 ページ |
| ④ 柿木原栄一 | 「テニスコート施設の整備・改修は」 | 15 ページ |
| ⑤ 今村 謙作 | 「新庁舎建設について」 | 15 ページ |
| ⑥ 庵下 信一 | 「基本設計案の見直しは何合目！」 | 16 ページ |
| ⑦ 武本 進一 | 「3歳児における弱視健診を」 | 16 ページ |
| ⑧ 星野 元興 | 「今後の小学校運営について」 | 17 ページ |
| ⑨ 岩元 努 | 「行政改革推進の現状と課題」 | 17 ページ |
| ⑩ 遠矢 寿子 | 「庁舎建設は粘り強く合意形成を」 | 18 ページ |
| ⑪ 畑中 香子 | 「市民の暮らしを守る緊急施策を」 | 18 ページ |

コロナ感染症対策のため、議場内での一般質問・質疑はマスク着用で行っております。



新庁舎建設の進捗状況は

市長／4年度で基本設計、
5年度で実施設計に着手する
福本 千枝子 議員

問 菱刈庁舎に教育委員会を残すことで新庁舎面積は削減できるか。また、土地・家屋等の買収は順調か。

答 削減の可能性はあるが、菱刈庁舎の耐用年数後の配置もあり現在検討している。家屋等の補償も含め現在進めている。

問 新庁舎とふれあいセンターの改修工事は分けて計上することだったが、このことで新庁舎建設費は削減できるか。また、基本設計・実施設計はいつ頃提示できるか。

答 新庁舎、ふれあいセンター、中央公園を含め再度検討し、早い時期に示す。令和4年度で基本設計、令和5年度中に

実施設計に着手しなければ合併推進の対象にならないので必死に進めている。

特別支援学校
誘致活動について

問 現在、小・中・高等部に湧水町を含め約60人が1時間から1時間半かけ、カーブの多い峠道の危険や不調を訴える子ども達など大変な状況の中で出水養護学校に通学している。先日の「知事とのふれあい対話」や県議会の一般質問の知事答弁では、分校等の手段を含め早急に検討するよう県教委に指示したとあった。どう捉えたか。

答 これまで何度も知事や県教育長に対し要望活動を行ってきたが、

今回はこれまでより踏み込んだ答弁であり、確実に前に進んでいると思う。

問 保護者は1日でも早くとの願いである。今回がチャンスだ。行政のバックアップなしでは難しい。伊佐市の体制をどうするか。

答 所管をこども課とし各課連携して取り組む。





給付型奨学金創設を！

市長／新奨学資金創設へ

検討する

森田 幸一 議員

問 大学に進学する奨学資金の貸付状況を伺う。(令和元年度・2年度)

答 令和元年度は、大口高校が3人、伊佐農林高校が1人、市外の高校は8人である。令和2年度は、大口高校が6人、伊佐農林高校が3人、市外の高校は1人である。

問 本市に保護者が住み、子どもが大学等に進学した場合、要件を満たせば奨学金の貸付を受けられる。卒業後に本市に居住し、本市内外に就労した者は給付型へ見直すことはできないか。

答 県内、いくつかの市が定住促進の観点から、国や県の奨学金の返還支援補助を行っている。全

国的にも公的機関や民間が行う様々な奨学資金制度もあるので、新しい奨学資金制度の創設に向けて検討を進める。

高齢者等買い物弱者対策について

問 本市で高齢者等の買い物弱者が発生する現状や原因は何か。

答 高齢化で身体能力の低下を招き、視力や体力、判断能力が低下し、車の運転に支障を来している。そのことで運転免許証返納などが行われ移動手段がない。また、近くにある商店が閉店や廃業している影響もある。

問 高齢者の皆様がこれまで元気で本市を支え、

築いてこられた。しかし、身体の変化や、運転免許証返納等により、日常の買物も気軽にできない不自由な日常生活であるので、少しでも手を差し伸べるべく行政を進めて頂きたい。集落内を巡回する食料品等の移動販売業者は採算が取れずに苦慮しているため、存続のためにも力を入れ、支援することはできないか。

答 この伊佐市を支えて頂いた大先輩方であり、本当に大切な問題である。寄り添いながら、少しでも満足頂けるように、検討しなければならぬ。

災害時に対する今後の対応策は！！

市長／排水検討委託の実施を計画

村岡 強志 議員



問 本市では公民館を有さない自治会などは避難所までの距離が長く、避難が難しい方々や避難の困難な方々などを把握

していると思うが、対応はどうかしているか。

答 避難が難しい方や避難の困難な高齢者等については、風水害やそのほかの災害による被害の防止を目的とし、災害時にスムーズな避難支援が実施できるようにしている。また、自分で避難することが困難で支援が必要な方を対象に情報提供の同意確認を行い、避難行動要支援者名簿及び個別支援計画の作成を進めている。

問 令和3年7月豪雨の被害を受けて、その後の対応はどう考えているのか。

答 今後の対応としては、現在、国が急ピッチで羽月川の河道掘削を行っている。これにより、河床が下がり、排水流量がかなり増え、降雨時に排水ポンプ車の能力が発揮できると思われる。また、市では大口街道地の浸水対策のための排水検討委託の実施を検討して

いる。



羽月川の河道掘削工事

高齢者の交通関連対策について

問 交通体系の維持のため、具体的に新たな施策を組み込んで予算化する考えはないか。

答 令和2年の地域公共交通活性化再生法の改正により、新たな地域公共交通計画マスタープランの作成が地方公共団体の努力義務として規定され、補助金交付要綱において国庫補助の要件とされた。このことにより計画作成に係る経費について、令和4年度当初予算に計上する予定である。当計画の作成により、交通弱者対策も含めた市にとって望ましい交通体系の構築を図っていく。

問 大口地区のテニスコートの整備・改修と武道場の畳の入替えの計画はあるのか。



テニスコート施設の整備・改修は

教育長／有利事業や起債を活用したい
柿木原 榮一 議員



伊佐市テニスコート

答 テニスコートの整備・改修は、有利な事業や起債を活用して検討したい。武道場の畳は、問題がないので入れ替える必要がない。

問 野球場のスコアボードの整備計画、市営プール・更衣室の改修は考えているのか。

答 スコアボードは長寿命化計画に基づき10年間で改修予定。プールは利用者の安全を考え、財政の許す範囲で改修。更衣室は換気扇を替えたり、入る人数など工夫し利用していただく。

市営住宅等の方針及び管理状況について

問 市営住宅の活用や長寿命化・新築住宅建設の見通しを提示せよ。

答 現在、公営住宅が565戸、特定公共賃貸住宅が52戸、改良住宅が19戸、単独住宅が39戸で、うち空き家が224戸である。長寿命化計画では、維持管理住宅306戸、個別改善住宅180戸、用途廃止住宅は189戸であり、空き家等団地は解体計画を策定して行く。新築住宅の建設計画はない。

問 5年後、10年後の市営住宅の必要戸数の推計は。

答 令和8年が436戸、令和13年が398戸になる。

【その他の質問】

・伊佐市の農地中間管理機構関連農地整備事業について



問 新庁舎建設について、合併推進債の延長で見直すということだが、今後、どのような計画になるのか。

答 現在、様々な条件について検討を進めており、基本設計の取りまとめができる段階になった。建設計画のスケジュールもはつきりしてくるものと考えている。また、新市まちづくり計画についても、そのスケジュールを踏まえて変更を行いたいと考えている。よって、今の段階でいつ頃できるかは申し上げられないが、遅くとも令和5年度までに実施設計の着手をしなければ合併推進債の対象にならないので、令和4年度中に実施設計に着手することを目指す。

新庁舎建設について

市長／今後見直していく

今村 謙作 議員

を進めている。

問 菱刈庁舎に菱刈図書館を移すというように考えがあるようだが、移す必要もなく、現行のままではいけないか。

答 菱刈庁舎の人数をなるべく減らさない、充実したものにするための一つの案として申し上げたわけである。また、教育委員会は残すということで大体決めているが、現在、庁舎内での議論、配置の問題、スペースの問題等様々な検討をしている。予算をかけてまで行う必要のないものをあえて行う必要はないと考えている。



菱刈図書館





基本設計案の

見直しは何合目！

市長／何合目までという

表現はできない

庵下 信一 議員

することはできない。

問 市民説明会から4か月が経過した。設計案の見直しは山に例えると同合目まで進んでいるか。また、精査・見直しを前提に建設費の予定額・希望額は幾らを考えているか、伺う。

答 新庁舎建設、老朽化等に伴うふれあいセンターの改修、その他中央公園等の改修について、必要な整備・改修内容を改めて洗い出すなどし、それぞれの事業内容・事業費等についても現在検討を継続しており、何合目までという表現はできない。庁舎建設は、なるべく経費を抑えてコンパクトなものにしていきたいという思いで、一生懸命検討を進めている。金額ありきでやるものではない。幾らのものがイメージどおりかと言われても、それを答え

問 建設資材等が値上がりする中、菱刈庁舎を主体にした既存施設を最大利用・活用する考えはないか、伺う。

答 ふれあいセンターの一部を庁舎として利用することはあり得るかもしれないが、菱刈庁舎以外の公共施設を庁舎として利用することは、現時点では考えていない。

意見箱について

問 橋本市長就任前3か年の意見件数と内容、分類並びに取扱い（開示・回答）について伺う。

答 平成29年度は2件で、職員応対1件、施設管理1

件。平成30年度は3件で、職員応対1件、施設管理1

件、ごみ分別1件。令和元年度は4件で、庁舎駐車場1件、子育て2件、空き家対策1件。令和2年度は1件で、空き家対策について。橋本市長就任後は44件で、庁舎建設関係28件、市政運営6件、施設管理3件、まごし温泉2件、空き家対策・市道管理・議会だより・職員関連・消防防災各1件となっている。ご意見は、市長も確認している。取扱いとしては、非公表としている。投函者へのお礼並びに回答できるものについては、担当課から回答している。



3歳児における弱視健診を

市長／屈折検査機器の導入を検討

武本 進一 議員



問 子どもの目は6歳までにほぼ完成すると言われている。そして、健診の体制が十分でないという弱視を見逃してしまう可

能性がある。このことについて見解を伺う。また、3歳児健診時に弱視を見つけることで効果的な治療が可能とされる。この点についてはどう思われるか。

答 現在の3歳児健診での目の検査及び異常の有無の確認は、保健師の問診、医師の診察で丁寧に確認を行っている。また、3歳児健診における自宅での視力検査は、保護者による幼児の自覚的な視力検査で判定しているが、弱視の子どもはもとで見えにくい状況が当たり前として育っているため、見えにくいという訴えはほとんどない。なので客観的に分かるものなどの利用ができれば精度が上がると考える。

の膝に抱えたままでも検査が可能で負担は和らぐとのこと。3歳児健診の視力検査で弱視を発見する屈折検査機器を導入されてはどうか。

答 視覚異常の早期発見、早期治療が非常に重要であると認識している。3歳児健診で実施しているランドルト環による検査やアンケートチェックに屈折検査機器を加えることが、弱視や斜視の早期発見のために望ましいと言われているので、屈折検査機器を導入する方向で進めていきたいと考えている。



問 日本小児眼科学会はその提言の中で、3歳児健診における視力検査と弱視の判定に有用な屈折検査の実施を推奨されている。この機器は一眼レフのカメラのように撮るため、乳幼児が保護者

問 市内小学校校舎の多くは、築50年の耐用年数間近、もしくは耐用年数を過ぎてている。十分な教育環境を整えるための



今後の小学校運営について

教育長／現状のまま維持する

星野 元興 議員

新築・改築予定は今後あるのか。

答 校舎については、予防保全型管理と状態監視保全型管理をベースに計画的な維持管理を行う。現在、建て替えの予定はない。

問 市内小学校14校中、13校が標準学級数未満の学校である。今後必ずすべての小学校を維持していく考えか。

答 それぞれの学校は、地域のコミュニティの中心を担っている。そのため、今後当分の間、市内の全ての小学校を現在のように維持していく予定である。

奨学金制度・朝食クラブについて

問 学校卒業後、伊佐市に帰郷した者への返済免除を柱とする奨学金制度創設を考えているというところであるが、私は反対である。家庭環境に関わらず、誰もが平等に「将来の夢」を持てる制

度、すなわち、帰郷しなくとも返済義務のない奨学金制度が求められていると考えるが、いかがか。

答 帰郷者への返済免除は、案の一つである。総合的に鑑みて、子どもたちが平等に教育を受けられ、活躍できる制度を考えていく。

問 朝食クラブとは、簡単に説明するならば、学校で朝食を提供するという制度である。全国各地で導入が進む制度であるが、伊佐市でも導入できないか。

答 平成29年に実施した意識調査によると、朝食を食べると回答した保護者の割合が小学校で98%、中学校で90%である。このことより、現在、本市での導入は考えていない。



行政改革推進の現状と課題

市長／問題を見直し
満足度の向上に努める

岩元 努 議員

内容を示せ。

問 伊佐市集中改革プランの基本方針に、指定管理者制度をより具体的に推進するとしている。効率的な行政運営の構築と経費削減及び効率的な行政サービスの改革推進を掲げる一方で、成果を見ると、評価も低く整合性に欠けているが見解は。

答 当該年度において、新規に指定管理者を設定、審議会にかけられる施設がなかった。今後も、民間活用により、効率的、効果的な運営を見込める施設に関しては、指定管理者制度の導入を検討していく。

問 十曾青少年旅行村の指定管理者制度の導入について、検討している

答 同制度の導入可能な施設と考えているが、維持費や利用状況等の把握にとどまり結論に至っていない。指定管理者制度の導入は、まず条例改正、公募を行い、応募の中で選定を行う。また制度移行期間については、年度替わりが適切で、一年程度の期間が必要になる。

市道の維持管理状況は

問 幹線道路と地方のその他路線の道路舗装、除草等の維持管理に格差が生じている。自治会も高齢化の影響で対応が年々難しくなりつつある。今後の維持管理について見解を示せ。

答 道路舗装については、通行量の多いところは路面損傷が著しいため、年次的に工事を実施している。その他路線については、むらづくり方策での要望箇所、自治会、道路パトロール等の結果を考慮して維持管理している。除草作業の委託料は1km当たり26万円で、全路線55.6kmの60%を委託すると1億8670万円、2回で1億7340万円になる。自治会協力もお願いしながら要望に対しては対処していく。





庁舎建設は粘り強く 合意形成を

市長／丁寧に説明していきたい

遠矢 寿子 議員

問 9月議会での「買

物ついでに庁舎に寄って、カフェでお茶を飲みながら語り合う、そんな庁舎を目指したい」との市長の答弁に対し、「市民はカフェを作ってもうたために税金を払っているのではない」との意見が寄せられた。この声にどう答えるか。

問 庁舎建設について

は情報をガラス張りにして説明責任を果たし、異なる意見や批判を受け止めて対話の続け、粘り強く合意形成を図る姿勢で臨んでいただきたいが、いかがか。

答 節目節目で情報提供しつつ、丁寧に説明していきたい。

答 新庁舎建設基本計画で市民に開かれた親しまれる庁舎を目指すとしており、庁舎とふれあいセンターの複合施設でもある。市民ワークショップでは高校生から居場所としてカフェの希望があった。しかしコンパクトな庁舎づくりを目指しているため、現在慎重に検討している。

重留多目的広場 (コスモス広場) について

問 土地取得の目的、年度、金額、昨年度までの予算累計額は。

答 多目的公園用地に供するため2013年度に4500万円で取得。昨年度まで8年間の予算累計額は1億2356万

円。

問 今年度の予算は。また、今後の具体的な利用予定は。

答 今年度の予算は796万4000円。特別支援学校誘致の動向を踏まえつつ、検討委員会を立ち上げて今後の利用については検討したい。



【その他の質問】

・コロナ対策（市独自の支援）について
・盛土について
・持続可能な社会を目指す環境政策について

市民の暮らしを守る 緊急施策を

市長／現在は検討していない

畑中 香子 議員



税を措置する。灯油購入費の助成や燃料費高騰への助成を検討するべきではないか。

答 今後の燃料価格等の動向を見極め、国県の動向を注視しながら検討していきたい。

問 米価の下落により米作りをやめようかという声が農家より上がっている。他市の施策を参考に米農家の営農持続のための助成実施をすべきでは。

答 経営の効率化や合理化などの取組、複合経営の推進を図っていく。今後のコロナ感染の状況や近隣市町の対応も把握し検討する。

新庁舎は市民の 声を聞き建設を

問 菱刈庁舎の耐用年数がきたら大口に集約することを考えた新庁舎の規模であり、基本計画は見直されない。また、廃案にした設計案の金額な

ど明らかにし、市民の意見を聞くべきではないか。

答 ふれあいセンターとの複合利用などにより必要面積や事業費の抑制に努める。基本計画は見直さない。今は明示できるものはない。



菱刈庁舎



大口ふれあいセンター

【その他の質問】

・再生可能エネルギー発電設備の設置について

議 会 の と り く み

特別支援学校誘致調査特別委員会

第1回 伊佐・湧水特別支援学校誘致協議会

(伊佐市・湧水町特別支援学校誘致調査特別委員会、伊佐市に新しい特別支援学校をつくる会で設立しました。)

令和3年7月31日

第2回 伊佐・湧水特別支援学校誘致協議会

令和3年11月13日

塩田知事との面会

(伊佐市議会議長、市長、教育長、湧水町議会議長、町長、教育長、伊佐・湧水特別支援学校誘致協議会が参加しました。)

令和3年12月23日

県教育長との面会

(新型コロナウイルス感染症拡大の状況により県から人数制限の要請があったため、伊佐市長、教育長、湧水町長、教育長のみの出席となりました。)

令和4年1月19日

シルバー人材センターとの懇話会

令和3年11月5日



DMO取組状況報告

令和3年12月7日



私は、Design Space 合同会社アグリ農創事業部にて、地域創生、農業の担い手不足問題などに取り組み阿萬英治と申します。

現在農業就業人口は減少していますが、このまま行けば農業をする人は居なくなり輸入に頼りきりな日本は、世界的な人口増加により食品の価格上昇や輸入の停止などいくつかの困る時代が来ると思います。

そうなると富裕層は



Isa no hito
Vol.2

地域創生、農業の担い手不足問題などに取り組み
Design Space 合同会社

アグリ農創事業部

阿萬 英治 さん

いいですがそうじゃない人達はどうすれば良いんでしょう？

いつか来るであろうそんな時に農地が荒れて使えないじゃ話にならないので次の世代に繋ぐ為に農地の維持管理をしていきたいと思っています。

取組として曾木地区で地域の方々に助けて頂きながら耕作放棄地からお米作りに挑戦中です。

ただ現状は「きつい・汚い・危険」の3Kで若者は農業に良いイメージを持っていません。

まあ自分も針持で副業の農業(米・タケノコ)をしているので分かりますがそれ以外にもクリアしないといけない課題が山積みです(笑)

副業のお米、早掘り



タケノコを上手く活用しながら竹林再生活動や伊佐でタケノコと言ったら阿萬さんだと言われるようになるのが目標です。色々な事をミックスしながら「あそこの会社」に面白い人達が居るってよ」「あいつらに頼めば何とかしてくれるよ」と言われるような会社を目指して「稼ぐ・効率化・カッコイイ」の新しい3Kを掲げ若者に大人の本気の遊びを見せつけてやりますよ(笑)



令和4年 第1回定例会のお知らせ

○本会議は午前10時開会です。

2月

22日(火)	本会議(招集日)
28日(月)	本会議(2日目)一般質問

3月

2日(水)	本会議(3日目)一般質問
3日(木)	本会議(4日目)一般質問
7日(月)	本会議(5日目)総括質疑
8日(火)	文教厚生委員会(9時から)
9日(水)	総務産業委員会(9時から)
10日(木)	一般会計予算決算委員会(9時から)
11日(金)	一般会計予算決算委員会(9時から)
14日(月)	一般会計予算決算委員会(9時から)
22日(火)	本会議(最終日)

※日程は変更になることがあります。
詳しくは議会事務局(☎23-1335)にお問い合わせください。

市議会は・・・招集？召集？

- ◎しょうしゅう【招集】
②地方自治体で、首長が議会開催を告示し、議員を招き集めること。
- ◎しょうしゅう【召集】
③衆参両院の国会議員に対して議会開会のために一定期日に各議院に集会すべきことを命ずること。(広辞苑)



「伊佐市議会だより」で、議会の さまざまな情報をお伝えしています。

編集・発行責任者

議長 森山 良和

議会広報等特別委員会

委員長 岩元 努

副委員長 星野 元興

委員 村岡 強志

畑中 香子

武本 進一

竹原 研二



お知らせ

- ◎「議員との意見交換会について」新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から中止とさせていただきます。
- ◎ 議会傍聴につきましては、新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、議会ライブ中継などを視聴していただきます様、ご配慮をお願い致します。

市民の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

議会を自宅等のインターネットでも 視聴できます。

(市議会の生中継や録画を映像配信しています)

【伊佐市ホームページ】

↓
【行政・議会】

↓
【議会】

↓
【議会インターネット中継】



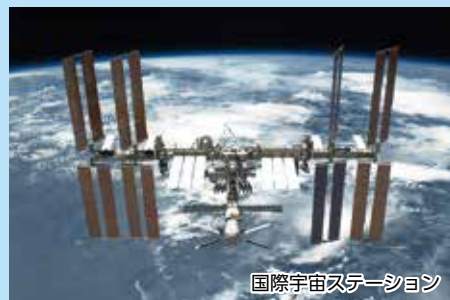
大口庁舎、菱刈庁舎、
ふれあいセンター、
まごし館では議会ライブ中継
をご覧になれます。



編集後記

令和3年12月7日に三日月の右下の方向に明るく輝く金星が光っていました。また、その日以降は月と土星、月と木星との接近で惑星がほぼ一直線に並んでいました。これは2つ以上の天体が互いに非常に近くに見えるときに発生する合(ごう)と天文学で言うそつでありました。

ちょうど同じころ、民間人の実業家の方が宇宙旅行に出发し、日本人の民間人として初めて国際宇宙ステーション(ISS)に入り、民間人から募った様々な企画や実験がなされたようです。その後、無事に帰還されました。宇宙へ行きたいとの夢を現実のものとし、諦めなかったその姿に勇気を頂いた思いであります。そして果てしない宇宙の広さと、未解明とされる暗黒物質(ダークマター)やダークエネルギーなどの発見と解明に期待をよせながら、空を仰ぎ想うのでした。



国際宇宙ステーション

武本 進一